

万九千社 立虫神社
社報



神戸の郷

第六三号 平成三〇年神在月
「発行」十一月吉日 代宮家 (錦田)

今季の祭 その一

万九千さん

全国では神無月とよばれる旧暦十月を出雲地方では神在月と呼び慣わしています。日本中の八百万神が出雲へ参集されると伝えられるからです。私たちがお護りする万九千社では、神々が神議りの締めくくりと直会を催し、明るる日の早朝、諸国へとお帰りの旅立ちを

なさると伝えてきました。

まもなく日本中の神様が、私たちの住まいするこの土地の宮へとお越しになります。皆様おそろいでお参り下さい。

十一月二十四日

(土) 早朝

※旧暦の十月十七日にあたります

一、龍神祭、お忌み入り

龍蛇さまを先導役とし八百万神を斐伊川でお迎えする祭です。

古くから、宮司一人が人知れず行う秘儀とされ、夜明け前に斐伊川の水辺で行います。

水辺での神事が終わると、宮司は神籬(榊の木)に遷られた神々を万九千社へと御案内します。神迎えの祝詞を奏上し、当社はお忌み入りとなります。

「お忌み」とは、神々の滞在や会議を邪魔しないように、忌み慎んだ祭事や生活をすることを言います。



龍神祭の様子 (撮影 中野晴生氏)

十一月

二十六日 (月)

二十七日 (火)

早朝から日没まで

一、神在月

特別祈願祭

出雲国にお集まりの全国八百万の神々の御神徳を称え、特別祈願祭を行います。

名物の植木や刃物、海産物等の露天商による市が開かれます。昨年から神前にて、個人の人來年の吉兆を占い、昇殿の上、玉串拝礼いただく「神在みくじ」の御祈祷（十一月二十四日から十二月四日まで。四頁参照）を行っております。神在みくじ、御祈祷札、この祭り限定の御神酒「からさでの梅酒」を授与致します。稲作の吉凶を占う特殊神事「御種組」も行います。

十二月二日（日）

※旧暦の十月二十五日にあたります

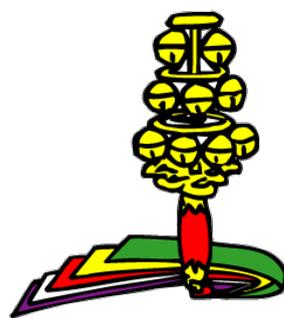
一、前夜祭

戸を閉ざした社殿内で宮司ほ

か数名が奉仕します。

明日の神等去出祭を前に、宮司ほかの奉仕者が神社に布団を持ち込んで一夜を過ごす、お籠もりの神事も行います。

これには、神々のおそばで忌み籠もること、心身の清浄を極め、靈魂を鎮める意味もあります。



十二月三日（月）

※旧暦の十月二十六日にあたります

一、大祭

午後五時～

湯立神楽

午後六時～

神殿祭

神等去出神事

万九千社にとつては、一年で最も重要な祭儀です。

平成二十九年からは、明治時代以来途絶えていた「湯立神楽」を復興しました。この祭儀は、神さまの旅立ちを前に、神々の人々の前途、祭場、祭員、参拝者にまつわる全てのモノ、コトを清々しく祓い清めるものです。その後、神殿祭を行い、たくさんのお供え物をして会議の締め括りと直会（なおらい）をなさる全国のさまを静かに厳かにおもてなします。日没頃には、神々に明朝未明の旅立ちの時が近づいたことをお告げする神等去出神事を行い、

今後も全国の人々の幸をお守り
いただくべく御祈念します。

宮司が、社殿の御扉を梅の小
枝で叩きながら、「お立ち、お立
ち、お立ち」と三度唱え、神々
に出発が近いことをお知らせし
て神事を閉じます。

こののちは、神のみぞ知る時
間と空間：神々の直会なほらひが始まり
ます。私たち人間は、神々の邪
魔をしないように、一斉にその
場から立ち去らねばなりません。

今季の祭 その二

十二月四(火)

午後二時より

一、万九千社

一、あとまつり

一、立虫神社
新嘗祭にいなめさい(しんじょうさい)

万九千社から神々が無事に旅立
たれたことを寿ぐあとまつりに
合わせまして、今年収穫された
お米をはじめとする新穀を万九
千社と立虫神社の神々にお供え
する新嘗祭を齋行します。

宮司が祝詞を奏上して、農業
はもとより諸産業繁栄の感謝を
申し上げ、人々の幸福と弥栄を
祈念します。

当日は、氏子各戸へ万九千社、
立虫神社、伊勢の神宮の三体の
御札と御洗米を授与しますので、
お正月に向け各家で大切にお祭
り下さい。

※※※お供え、お米当番の方
は、午後一時までに、神社参集
殿へお供えのうえ御参拝下さい。

《あとがき》去る十一月十一日、
晴れわたる秋空のもと立虫神社秋祭
・幣殿拝殿竣功奉告祭が無事に齋行
されました。おめでとございます。

▼総代をはじめ氏子崇敬者ほか多く
の方々のまごころの結晶です。あり
がとうございました。▼私事ながら、
祝詞の最中から胸がいつぱいで感涙
があふれてしまいました。そのため
祭典後の挨拶では、皆様に十分な感
謝の気持ち言葉を御挨拶する
ことがかなわず失礼致しました。改
めまして心から篤く御礼を申し上げ
ます。▼さて、準備や稽古をはじめ、
長期間にわたる段取りに励んでいた
だきました皆様、とりわけ神和会千
親会の皆様には精練り、獅子舞、神
事華奉納、神楽保存会さんには七座、
神能の奉納、あい川保育園さんには
「子ども神楽」奉納、氏子小学生女
子有志の皆さんには「浦安の舞」奉
納、そして小学一年生の皆さんには
御神輿曳きと、何から何までお世話
になりました。▼大神さまもさぞお
悦びの事と拝察します。「お陰さま」
「ありがとう」ただただその一念で
す。皆さんの笑顔が忘れられません。
また、感涙…。(文責 宮司 錦田剛志)

神在祭
特別祈願



神在みくじ

限定
300枚

～八百万神さまの御神前で、明年の吉兆を占い、諸願成就を祈りましょう～



特別授与品

八百万神のおかげ
御祈禱札



明年、吉兆の道じる人
神在みくじ

万九千社 八百万神御祈
願成就御祈禱 八種神占之御事
男女 (〇 十 十 一 一 〇 〇 〇 一) 一
二 御祈願
三 御祈願
四 御祈願
五 御祈願
六 御祈願
七 御祈願
八 御祈願
九 御祈願
十 御祈願
十一 御祈願
十二 御祈願
十三 御祈願
十四 御祈願
十五 御祈願
十六 御祈願
十七 御祈願
十八 御祈願
十九 御祈願
二十 御祈願
二十一 御祈願
二十二 御祈願
二十三 御祈願
二十四 御祈願
二十五 御祈願
二十六 御祈願
二十七 御祈願
二十八 御祈願
二十九 御祈願
三十 御祈願
三十一 御祈願
三十二 御祈願
三十三 御祈願
三十四 御祈願
三十五 御祈願
三十六 御祈願
三十七 御祈願
三十八 御祈願
三十九 御祈願
四十 御祈願
四十一 御祈願
四十二 御祈願
四十三 御祈願
四十四 御祈願
四十五 御祈願
四十六 御祈願
四十七 御祈願
四十八 御祈願
四十九 御祈願
五十 御祈願
五十一 御祈願
五十二 御祈願
五十三 御祈願
五十四 御祈願
五十五 御祈願
五十六 御祈願
五十七 御祈願
五十八 御祈願
五十九 御祈願
六十 御祈願
六十一 御祈願
六十二 御祈願
六十三 御祈願
六十四 御祈願
六十五 御祈願
六十六 御祈願
六十七 御祈願
六十八 御祈願
六十九 御祈願
七十 御祈願
七十一 御祈願
七十二 御祈願
七十三 御祈願
七十四 御祈願
七十五 御祈願
七十六 御祈願
七十七 御祈願
七十八 御祈願
七十九 御祈願
八十 御祈願
八十一 御祈願
八十二 御祈願
八十三 御祈願
八十四 御祈願
八十五 御祈願
八十六 御祈願
八十七 御祈願
八十八 御祈願
八十九 御祈願
九十 御祈願
九十一 御祈願
九十二 御祈願
九十三 御祈願
九十四 御祈願
九十五 御祈願
九十六 御祈願
九十七 御祈願
九十八 御祈願
九十九 御祈願
一百 御祈願

万九千神社 願不吉兆
諸願成就 神在みくじ



神在祭限定御神酒
からさでの梅酒

- 1 玉串料 (二千円よりお気持ちで) は、受付時にお納め下さい。
- 2 係の案内で、御神殿へ特別昇殿のうえ玉串を奉ってご祈念いただきます。
- 3 神職により神占いと特別祈願がなされた「神在みくじ」、 「御祈禱札」、 「からさでの梅酒」を授与します。

◎玉串料(授与料)
二〇〇〇円